

平成27年度 傾斜的研究費（全学分）上位科研費申請支援 研究報告書

【研究費区分】：上位科研費申請支援

【研究代表者所属】：大学教育センター

【研究代表者氏名】：舩本 直文

【研究代表者氏名フリガナ】：マスモト ナオフミ

【研究代表者職】：教授

【研究分担者（所属,氏名,職）】

- ・文教大学国際学部，小林勝法，教授
- ・北海道教育大学教育学部旭川校，三浦 裕，准教授
- ・明治大学政治経済学部，後藤光将，准教授
- ・日本体育大学体育学部，関根正美，教授
- ・筑波大学体育系，嵯峨 寿，准教授
- ・国土舘大学体育学部，田原淳子，教授
- ・中央大学文学部，森 正明，教授
- ・上智大学文学部，師岡文男，教授
- ・中央大学スポーツ科学部，來田享子，教授

【研究課題名】：2020年東京大会のレガシー形成に寄与する大学間連携のあり方に関する総合的研究

【研究実績の概要（200字程度で記入。図，グラフ等の使用も可。）】

・2012 ロンドン大会時の大学連携組織 PODIUM の元事務局長の Matthew Haley 氏（UK Sport）を招聘し、実務担当者の立場から事務局の具体的な活動や課題について情報提供を得た。また、Vassil Girginov 氏（Brunel 大学）を招聘し、2012 ロンドン大会が英国各大学の研究面に与えた影響に関して行った調査研究に焦点を当てて情報提供を得た。両氏から大学連携の情報提供を得ると共に、2020 東京大会に向けた日本の大学連携のあり方について示唆を得た。

【科学研究費補助金への応募状況，採択状況】

- ・平成28年度研究代表・基盤（A）「オリンピック・パラリンピックのレガシー形成に向けた大学関連事業に関する総合的研究」（不採択）
- ・平成28年度研究代表・挑戦的萌芽研究「「オリンピック休戦賛同サインの壁」の可視化」と教育的活用のための方略，採択 900 千円
- ・平成28年度分担研究・基盤（A）「身体文化の多様な価値を共有するためのスポーツ・ア

ーカイブズのモデル構築」, 研究代表者來田享子、採択, (分担金未確定)

【国等の提案公募型研究費, 企業からの受託研究費・共同研究費の獲得状況】

・無